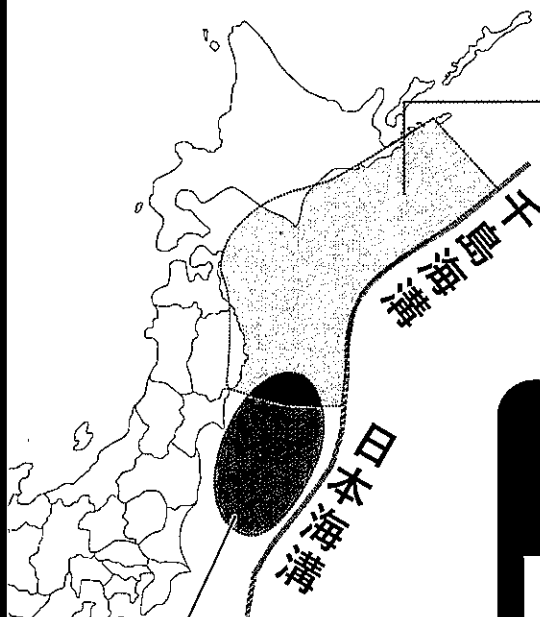


北海道・三陸沖

回覧

に備えを！



マグニチュード

M7.0以上の大地震が
起きたら…

東日本大震災のときは



続いて発生する 巨大地震の可能性！ 情報で備えを

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」2022年12月運用開始

※情報が発信されたとしても、必ず巨大地震が発生するとは限りません。

すぐに避難できる態勢の準備を！

巨大地震が発生した場合に、北海道から千葉県にかけての広い範囲で想定される甚大な被害に対し、1週間程度、備えの再確認や迅速な避難態勢の準備を。

枕元に靴等を置いて寝る

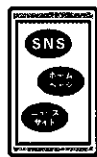


すぐに逃げ出せる態勢での就寝



非常持出品の常時携帯

インターネット



緊急情報の取得体制の確保

崩れやすいブロック塀等に近づかない



想定されるリスクから身の安全の確保

L字金具



日頃からの備えの再確認

内閣府(防災担当)・気象庁

詳しくはこちら



被害想定と防災対策

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震

被害想定

- ・ 最大津波高約30m
- ・ 最大死者約19万9千人
※日本海溝沿いの地震
- ・ 低体温症死亡リスク

※後発地震に限らず突発的に起こる地震でも上記被害が起こり得ます。

防災対策

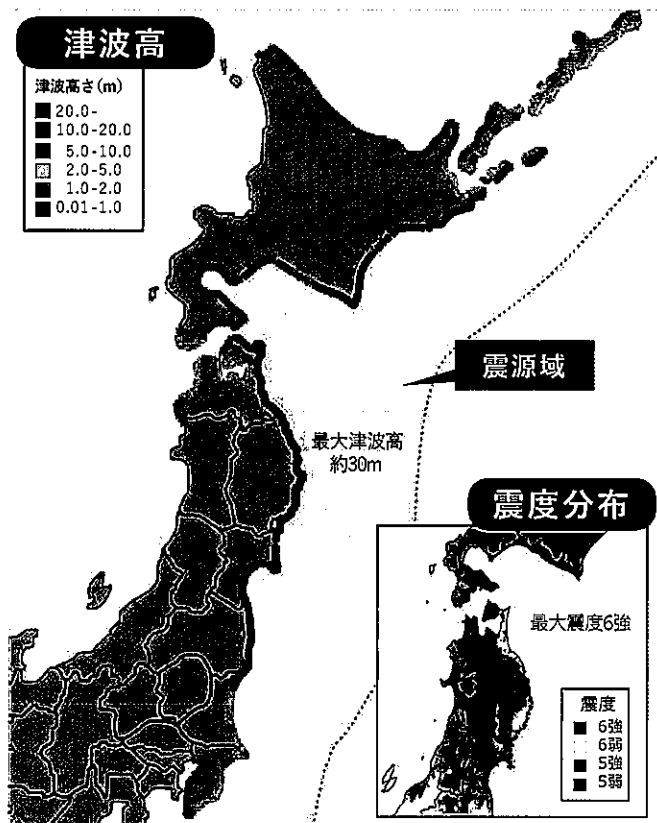
対策で死者8割減

- ①津波即避難の徹底
- ②避難ビル等の活用
- ③防寒備品の準備

等

想定される津波と震度

日本海溝沿いの地震



千島海溝沿いの地震

